

# よもぎた 議会だより

令和4年2月8日発行

第208号



## 村民スキー教室(モヤヒルズ) 1月5~7日

朝から吹雪の中始まった7日、小学4年生のグループは頂上で記念撮影です。

## 目次

- 第4回定例会・・・・・・・・・・・・・P 2
- 補正予算 12月議会で何が決まったの・・P 3
- 一目でわかる審議結果・・・・・・・・・・P 4
- 7議員の一般質問(あなたの声を村政に)・・P 5
- 令和4年第1回臨時会・・・・・・・・・・P18

U R L [http://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/sonsei\\_8.html](http://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/sonsei_8.html)

E-mail [yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp](mailto:yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp)

●発行/青森県蓬田村議会 ●編集/議会広報編集委員会 〒030-1211 青森県東津軽郡蓬田村大字蓬田字汐越1-3/TEL 0174-27-2111



■ 年頭の挨拶 ■

村民の思いを行政に反映させ、課題解決に努力する



市長 村 謙 修  
蓬田村 議会 議員

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、村議会の諸活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

昨年もまた、一昨年に続き新型コロナウイルス感染症の収束が見えない日々が続きました。ワクチン接種が進む中、昨年夏のデルタ株による感染拡大時には、全国的に感染者数が増加し、病床のひっ迫や経済の低迷など各方面に甚大な影響を及ぼしました。

今年こそ、この感染症が収まり、普段の日常生活を取り戻し、皆様が笑顔で暮

らしていける社会となることを願っております。

また、昨年も7月の静岡県熱海市の土石流など記録的な大雨、暴風により各地で甚大な被害が生じています。

各自自治体は、新型コロナウイルス対策をはじめ、近年頻発する大規模な自然災害に対応した防災・減災対策、急速に進む人口減少と少子高齢化に対応した福祉・医療サービスの充実など取り組むべき行政課題が山積しています。

私たち議会は、住民に最も近い存在として日々の暮らしを通して村民の思いを行政に反映させ、課題解決にむけ引き続き努力をしていく所存です。

結びに村民の皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

# 令和3年 第4回定例会

第4回定例会は、12月7日から9日までの3日間の会期で開催されました。今定例会では、村から提出された「蓬田村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例案」をはじめとする議案7件、請願1件を審議しました。一般会計は、4,355万円を増額し、予算の総額を23億9,923万円としました。特別会計は、4,257万円の増額で12億2,650万円としました。



## 条例

職員の仕事、降給の事由、手続を新たに加える

蓬田村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正

休職、降給の事由、手続について具体的に明記、文言等の整理。

## 出産育児一時金の改正

(※合計額は変更なし)

蓬田村健康保険条例の一部改正

・ 出産育児一時金  
40万4000円

↓40万8000円

・ 加算額(産科医療補償制度に加入している病院で出産した場合)  
1万6000円

↓1万2000円

## 請願

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願

(坂本豊議員提出)

## 意見書

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書

(坂本豊議員提出)

過剰在庫を政府が緊急に買入れ、米の需給改善し、米価下落に歯止めをかけること。政府が買い上げた米をコロナ禍などによる生活困窮者・学生などへの食料支援で活用すること。国内消費に必要なない外国産米の輸入を中止するか、当面、国産米の需給状況に応じた輸入数量調整を実施すること。を要請する。

主な補正予算

何が決まったの？

令和3年最後の定例会も新型コロナウイルス関連の補正予算が計上されました。

| 会計名     | 補正金額    | 予算総額       |
|---------|---------|------------|
| 一般会計    | 4,355万円 | 23億9,923万円 |
| 特別会計    |         |            |
| 介護保険    | 3,320万円 | 5億910万円    |
| 後期高齢者医療 | 937万円   | 9,129万円    |

(千円単位四捨五入)

新型コロナワクチン接種準備398万円



新型コロナウイルスワクチン3回目の接種体制確保に対応。(蓬田診療所でのワクチン接種1回目)

灯油購入助成744万円



村内全世帯に灯油54リッター分の購入助成券を交付。よもっと団地世帯には蓬田応援商品券5,000円分を交付。

18歳以下1人につき5万円給付1,587万円



国による子ども子育て支援で18歳の子1人につき5万円を給付。

ナマコ人工採苗施設整備助成100万円



漁協が取り組んでいるナマコの人工採苗の施設整備に助成。(採苗の作業の様子)

新型コロナウイルス感染症の影響で中学3年生の中止と2年生の延期が決まっている。

1031万円減  
中学校海外研修旅費

小中学生の家庭学習のための持ち帰り用タブレット端末収納ケースと充電器を整備。223台分。(学校保健特別対策事業を活用)

202万円  
タブレット端末収納ケース・充電器購入

漁業振興の支援を目的として漁協購入のバックホウの一部助成。

100万円  
バックホウ購入費助成金

一目でわかる審議結果 〈12月定例会〉

|   | 名 称                              | 結果 | 賛成：反対 |
|---|----------------------------------|----|-------|
| 1 | 議案 蓬田村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正 | 可決 | 7：0   |
| 2 | 議案 蓬田村国民健康保険条例の一部改正              | 可決 | 7：0   |
| 3 | 議案 令和3年度 蓬田村一般会計補正予算(第6号)        | 可決 | 7：0   |
| 4 | 議案 蓬田村一般会計補正予算(第7号)              | 可決 | 7：0   |
| 5 | 議案 蓬田村介護保険特別会計補正予算(第4号)          | 可決 | 7：0   |
| 6 | 議案 蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)       | 可決 | 7：0   |
| 7 | 請願 コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願   | 採択 | 7：0   |
| 8 | 発議案 コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書 | 可決 | 7：0   |

# 令和3年 第4回臨時会

11月30日に開催されました。  
報告1件、議案9件を審議し、  
原案どおり可決しました。

## 専決処分

### ■一般会計補正予算

(千円単位四捨五入)

- ・新庁舎建設予定地測量業務委託料 767万円
- ・該当面積1万5382平米

## 条例改正

### ■蓬田村議会議員の議員報酬及び費用弁償額等に関する支給条例の改正

蓬田村米価下落対策支援金 2842万円

### ■蓬田村特別職職員の給与に関する条例の改正

教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の改正

### ■蓬田村職員の給与に関する条例の改正

蓬田村職員の給与に関する条例の改正

青森県人事委員会の勧告に伴い、期末手当の支給割合を改める。(0・05月の引き下げ)

## 補正予算

| 会計名     | 補正金額     | 予算総額       |
|---------|----------|------------|
| 一般会計    | △2,734万円 | 23億5,568万円 |
| 特別会計    |          |            |
| 国民健康保険  | △7万円     | 4億8,756万円  |
| 簡易水道事業  | △5万円     | 1億 996万円   |
| 介護保険    | △6万円     | 4億7,590万円  |
| 後期高齢者医療 | △1万円     | 8,193万円    |

(千円単位四捨五入)

### ■一般会計

(千円単位四捨五入)

蓬田村米価下落対策支援金 2842万円

以下、期末手当0・05月分の引き下げに伴う人件費に関する予算額の調整。

職員手当等、共済費 △88万円

国保特別会計人件費等操出金 △7万円

介護特別会計職員給与等操出金 △6万円

後期高齢者医療特別会計職員給与等操出金 △1万円

簡易水道事業特別会計操出金 △5万円

国民健康保険特別会計職員手当等、共済費 △7万円

簡易水道事業特別会計職員手当等、共済費 △5万円

介護保険特別会計職員手当等、共済費 △6万円

後期高齢者医療特別会計職員手当等、共済費 △1万円

職員手当等、共済費 △1万円

## 一目でわかる審議結果 〈11月臨時会〉

|    | 名称                                   | 結果 | 賛成：反対 |
|----|--------------------------------------|----|-------|
| 1  | 報告 令和3年度蓬田村一般会計補正予算(第4号)の専決処分        | 承認 | 7:0   |
| 2  | 議案 蓬田村議会議員の議員報酬及び費用弁償額等に関する支給条例の一部改正 | 可決 | 7:0   |
| 3  | 議案 蓬田村特別職職員の給与に関する条例の一部改正            | 可決 | 7:0   |
| 4  | 議案 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正    | 可決 | 7:0   |
| 5  | 議案 蓬田村職員の給与に関する条例の一部改正               | 可決 | 7:0   |
| 6  | 議案 蓬田村一般会計補正予算(第5号)                  | 可決 | 7:0   |
| 7  | 議案 令和3年度 蓬田村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)      | 可決 | 7:0   |
| 8  | 議案 蓬田村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)            | 可決 | 7:0   |
| 9  | 議案 蓬田村介護保険特別会計補正予算(第3号)              | 可決 | 7:0   |
| 10 | 議案 蓬田村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)           | 可決 | 7:0   |

# あなたの声を村政に

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などに方針を問うものです。

議員一人当たりの制限時間は90分で、質問の回数は1つの質問につき、3回までです。



答弁する佐藤住民課長（左） 質問する吉田議員

| ページ   | 質問事項   | 質問議員 |
|-------|--|------|
| 6～7   | 1. 村長3期目の公約について  | 小鹿重一 |
| 8～9   | 1. 広瀬、瀬辺地地区の農村公園（三十三観音）の管理と緊急災害避難場所としてのあり方について<br>2. インフルエンザワクチンの不足への対処と新型コロナワクチン3回目接種予定について | 柿崎裕二 |
| 10    | 1. 農業用機械等購入支援事業について<br>2. タマネギの施設について  | 森 弘美 |
| 11    | 1. インフルエンザワクチンについて<br>2. マイナンバーカード普及について   | 吉田 勉 |
| 12～13 | 1. 定住促進住宅と空き家対策について<br>2. インフルエンザ予防ワクチンについて  | 川崎憲二 |
| 14～15 | 1. 米価格の低下の原因と対策について<br>2. コロナ対策の国や県の支援金について  | 坂本 豊 |
| 16～17 | 1. 新庁舎建設について<br>2. 除排雪について   | 久慈省悟 |

議事録は議会事務局や村のホームページで閲覧できます。



# こしかじゅういち 小鹿重一の一般質問

第4回定例会 (12月8日)

## 3期目の公約は具体的にどのようなものか

(村)夢と希望あふれるあずましい村づくりのために

**Q**

村長は無投票で3選を果たし、既に11月9日から3期目がスタートしている。3期目の主な公約として次に掲げる6項目が示されている。

- 1、快適な生活環境の整備。除雪機械格納庫の整備。
  - 2、産業振興と所得の向上。高収益作物の栽培促進。
  - 3、暮らしを守り安心を確保。子育て支援の充実。
  - 4、魅力ある地域づくりの推進。役場庁舎の建設の推進。
  - 5、教育文化の振興。
  - 6、村民対話を大切に。思いやりの行政推進。
- 村長の思い描いている具体的な内容の説明を願いたい。

**A**

(久慈修一 村長)  
1つ目、快適な生活

環境の整備は、やはり人口減少の背景には本村の生活環境や経済面で都市部と格差があることから、都市部への若い人の転出が発生していると思う。人口減少を食い止めるためには、少しでも住みやすい生活環境の整備に努力する必要があると考えている。このため道路整備、公共交通体系の見直し、定住促進住宅の建設などを促進していきたい。

2番目は、産業振興と所得の向上である。今年度は米価の低迷で農業所得が減少することになるが、営農意欲を継続するために、一時的ではあるが村独自でも支援をしていく。農業収入の安定のためには農業収入保

険の加入を促進することが大切で、今年度から助成もしているが、これを継続しながら、高収益作物への作付け転換を推進していく。漁業も所得安定化のために漁業収入安定化共済の加入支援を継続していくことになる。また、なまこなどの栽培漁業を推進することになっている。

3番目の暮らしを守り安心を確保は、少子化を食い止めるために子ども・子育て事業を充実していかなければいけない。さらに、超高齢化社会に対応するためには地域共生社会の実現を目標としていく。

4番目の魅力ある地域づくりは、役場庁舎の建設事業を進めて行く中で、役場庁舎は地域づくりの拠点となるものとして建設を進めたいと思っている。現在及び将来の村民に引き継ぐべき貴重な財産なので、村民の英知を結集して事業を推進していく。また、魅力ある地域づくりには観光事業の振興は欠かせない。これまでも少しずつ施設整備を行ってきた。これを継続していき、新たな観光資源の掘り起こしも進めていきたい。このための人材育成、人材活用にも努めていきたい。

5番目の教育文化の振興、教育は、義務教育の場におけるデジタル化を推進するとともに、村民の学習意欲を支えるための生涯学習を推進したい。また、村内にある文化遺産を整備・保存し、より多くの人に地域の歴史文化に触れる機会を増やしていきたい。

最後に村民対話を大切にしたい。行政の目的は村民の安心・安全確保と幸せ実現だ。行政運営に携わる職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務することが求められ、公平・公正な行政運営と透明性を求められる。絶えず村民の声を聞き、思いやりを持つて対話をしながら適切に対応していきたい。また、村民の皆様が主体的に村づくりに参画できるように協働を支援していきたい。

**Q**

村内の稲作の今後で心配していること

がある。村内にはJAのライスセンターと村のライスセンターがあり、この2施設がもみ受入の核となっている。特に、JAのライスセンターは昭和60年、61年度の新農業構造改善事業で建設されたもので老朽化が進み全面補修あるいは新築が避けられない状態にある。ライスセンターがなければ稲作経営の困難な農家がほとんどだ。JAだ、行政だけでなく、行政主導で話し合いを進め、早期に進



35年を経過したJAライスセンター

めてもらいたい。  
 漁業の関係では、養殖ホタテは近年比較的安定した価格で取引されているが、地球温暖化の影響により海水温が上昇し、これまでの養殖場所、養殖方法ではいずれ大きな問題が生ずると言われている。また、労働力確保の問題もある。漁業者も作業員も高齢化が進んでいるのが現状だ。漁協と行政が一体となり、ホタテ養殖産業の維持継続をしてもらいたい。村長の見解を求めます。

**来年度から組織を作って検討したい**

**A** (村長) JAライスセンターの老朽化については、今年の6月中旬にJAから協議したいということであつた。

JAが建てるか、村が建てるかの話をした。JAでは自己資本比率が下がることから独自ではできないという結論だつたと思つている。村としては、財源対策もあるし、農業者との話し合いも必要であり、手続きを踏むことが必要だということと、もしJAが建てられないのであれば村が建てなければいけないだろうという内容の話をしたように記憶している。ただ、農業者の皆さん、農業委員会、あるいは地域の農事振興組合長などの話し合いの中で政策を決定してもらつたのが必要ではないかと思う。利用者の立場に立つた施設が一番大事であり、JAがやらないからすぐ村でやるという話ではないと私は思つている。できれば、来年度から組織をつくりながら検討していきたい。

ホタテ養殖事業の継続については、最近では温暖化の影響で、例えば赤潮が発生して駄目になったなどそういったことがなかつたように記憶している。緊急の場合のために、漁業収入安定化共済に加入してもらつているが、労働力の確保となるとこれは別な組織の問題を考えないといけない。漁協自体が漁業従事者の確保をどうするのかという問題と、村全体でこれを支えるためにどうするかという問題である。全国の例を見ると事業組合方式などを利用してやるかどうかというのは、これは行政単独でできるものではないので、もう少し漁協などと話し合いを進めて、やれるかどうか検証してみたい。

**昔の活気を取り戻す政策をお願いしたい**

**Q** 村民との対話を大切にということだが、かつては助け合い、協力、手伝い、絆、話し合いといったことが当たり前のように各地域にあつた。これは小さい地域、小さい村、地方だからその慣習、文化、伝統でもあつたと考える。残念ながらこれがなくなりつつあると感じている。これに拍車をかけるように「コナ」の影響により、ここ2年は村民祭、敬老会、観閲式、社会福祉大会、芸能発表会、玉松海まつりなどの主要行事、イベントが軒並みに中止となり、さらには冠婚葬祭の在り方が様変わりしてしまつた。村民の接する機会が失われている。このことは社会構造の変化、「コナ」の影響だけでは片づけられない。このままでは村の活力がなくなってしまうのではないかと心配している。

住みたい、住んでよかった村にするためにも昔のよさを取り戻す施策をお願いしたい。

**にぎわいのある村づくりを進めたい**

**A** (村長) 魅力ある地域づくりとして、観光施設を整備するとともにイベントなども掘り起こしをしたいと考えている。また、既存のイベントも復活したい。ただ、イベントを主催する側の問題や「コナ」の影響もあり、単純に私がやりたいと言つてもできるものではないが、様々な若い方を取り込むイベントなどを実施したいと考えている。やはり人を知るといふこと、お互いを知り合うことが大事なわけで、若い人から高齢者の方々までの交流を重点的に行って、昔のようなにぎわいのある村づくりを進めたい。



# 柿崎裕二の一般質問

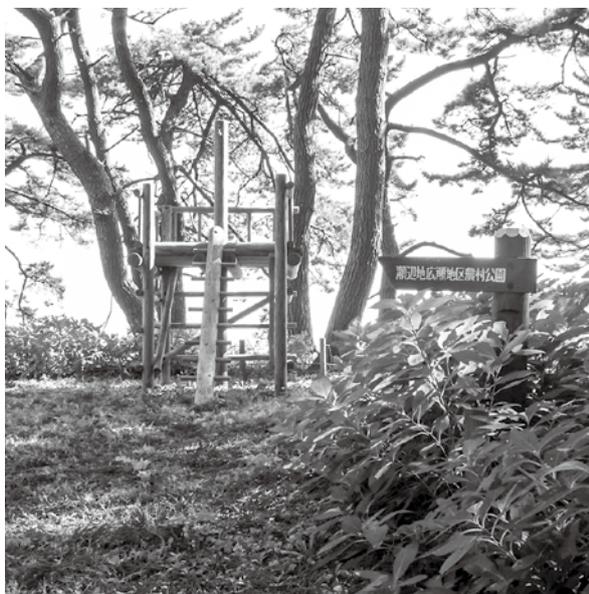
第4回定例会（12月8日）

## 瀬辺地広瀬農村公園の 管理は村か自治会か

（村）自治会にお願いしている

**Q** 広瀬地区と瀬辺地地区にまたがっている農村公園（三十三観音）の管理は村なのか、自治会なのか。また、その管理は三十三観音全体なのか。

**A** （稲葉正明建設課長）農村公園は地域の憩いの場及び地域住民の健康増進と交流促進のために造られ、管理は自治会にお願いしており、私どもは三十三観音全体だと思っております。



瀬辺地広瀬地区農村公園

池の周りを整備できないか

**Q** 農村公園の下のほうに池があり、その脇に東屋がある。池の周り全体が湿地帯になっていて長靴をはいても東屋にたどり着けないくらいだ。せつかく村民の憩いの場所として東屋を建設したので、この状況を改善することはできないか。

来年度、調査したい

**A** （建設課長）来年度、状況を調査したい。

公園の管理のため村から補助できないか

**Q** 公園の管理は各自治会だそうだが、広瀬及び瀬辺地自治会には草刈りなどの費用には、一切補助がない。ボランティアを募って草刈りをしており、1回の草刈りに20人ほどが協力してくれている。飲み物1つ出さないでやるわけにもいかないので、自治会の予算の中から上面している状態である。公園の管理を自治会にお願いするのであれば、村で多少でも経費負担をすることはできないか。

どが協力してくれている。飲み物1つ出さないでやるわけにもいかないので、自治会の予算の中から上面している状態である。公園の管理を自治会にお願いするのであれば、村で多少でも経費負担をすることはできないか。

他自治会との兼ね合いもあるので話し合いをしたい

**A** （建設課長）農村公園は、中沢農村公園、また、長科農村公園、瀬辺地・広瀬農村公園、高根農村公園という4つの農村公園が条例上で設置されている。ほかの農村公園との兼ね合いもあるので、話し合いをしながら進めていきたい。

公園頂上までの階段に手すりを設置できないか

**Q** 広瀬の農村公園頂上までは28メートル

ターほどあり、数年前より広瀬地区国道から避難道拡幅工事を進めているが、思うように進んでいる状況ではない。そんな中、去る11月14日に地震、津波避難訓練が村内全域で行われた。公園頂上まで国道280号線からすぐ上れる観音様に行く道があるが、急斜面の階段となっている。そこを避難道としてのほつた場合、高齢者は大変に苦勞をする。階段に手すりを設置することはできないか。

自治会と協議していきたい

**A** （建設課長）国道280号線から階段遊歩道を通って、瀬辺地広瀬地区農村公園へ行くには、私有地と広瀬自治会が管理している土地を通る。今後、自治会と手すりの設置を協議していきたい。

# インフルエンザ予防接種の状況を把握しているか、無料化を考えるべき

(村)遅れは承知している、今後の状況で検討する

**Q**

既にインフルエンザワクチン接種が始まっている。10月の早い段階でワクチン不足により蓬田村でも接種を受けられない状況にある。村ではその状況を把握しているのか。把握している場合、その要因は何か。

また、昨年は希望する全ての村民にインフルエンザワクチン接種を無料にし、劇的に感染を防げた。そこで9月議会で今年度のワクチン無料化を求めた際に、65歳未満の助成は今後の動向を見ながら考えたいとの答弁であった。今年は無理だとしても来年度はワクチン無料化を考えるべきではないか。

**A**

(高田一憲健康福祉課長) 新型コロナウイルス

ワクチン製造の影響により、インフルエンザワクチンの供給に遅れが生じることは国からの通知、報道等により承知している。また、現在、蓬田診療所に在庫がなく接種が進んでいないと聞いている。今後は、国及び県から、12月中旬にかけて製造企業から順次出荷される見込みとの情報が入っている。各医療機関によってワクチン在庫状況は日々変化しているため、接種を希望される方は直接問合せをもらいたい。

また、今年度のワクチン無料化は、動向を注視しながら検討していくと回答したが、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が進んで、

各市町村の動向や感染状況をj見て判断する

**A**

(村長) 行政の立場とすれば、何でもかんでもやればいいんだという考え方で進めるわけにはいかない。各市町村の動きや感染状況を見ながら今年のことを決定しているのが現状だ。

新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種はどうなっているか

**Q**

蓬田村では、新型コロナウイルス2回目接種をスムーズに運び92・01%の方が接種を終えている。第5波の非常事態宣言を乗り越え、今、新変異株オミクロンが世界各国で拡大し続け、第6波の感染拡大が懸念されている。

それを回避するためにも国内では3回目のワクチン接種が行われ、県内でも10月12日1日より接種が開始されると新聞で報道されて

いた。わが村での3回目のワクチン接種の計画はどのようになっているのか。

**A**

(健康福祉課長) 11月下旬から接種券等の発送、診療所で体制をつくっている

新型コロナウイルスの追加接種3回目については、今年の4月に2回目の接種をされた方々から接種期間の8カ月を経過したことから、12月から順次3回目の接種対象者となる。その方々を皮切りに、11月下旬から接種券等必要書類の発送を開始している。接種体制は蓬田診療所で12月から構築している。



# 森 弘美の一般質問

第4回定例会 (12月8日)

## 4月以降に購入した機械も対象にならないか

(村)現在検討している

**Q**

次年度で3年目となる農業用機械等購入支援事業は、生産者から、このような事業が今までなかったで大変助かるという声を多く聞いている。しかし、申込みが5月末までで、機械等導入が6月以降ということ、4月、5月に購入した機械等は対象外で支援事業を利用できないという嘆きも聞いている。トラクター作業機械は4月、5月に使用することが多いことから、4月以降に購入した生産者も支援事業の対象にならないのか。

らえればいいが、故障等により突発的に購入する方もいると思う。令和4年度では、一次募集期間を短くし、4月下旬以降に購入した方も対象にすることが可能か現在検討しているところである。募集から交付決定までどうしてもある程度の期間が必要なため、4月下旬が限度かと考えている。

### 要望

機械なのでいつ壊れるかわからない。ぜひとも農家のために4月下旬からの計画をお願いしたい。

**A**

(高田徹産業振興課長) 機械の購入が計画的にできるのであれば、前年から申込みしても

らえればいいが、故障等により突発的に購入する方もいると思う。令和4年度では、一次募集期間を短くし、4月下旬以降に購入した方も対象にすることが可能か現在検討しているところである。募集から交付決定までどうしてもある程度の期間が必要なため、4月下旬が限度かと考えている。

## タマネギを乾燥するハウスを建設することはできないか

(村)玉ねぎ生産組合と協議していききたい

**Q**

村で普及を目指しているタマネギだが、まだまだ普及に至っていない。原因としては、栽培の技術不足もあるが、施設不足が一番の原因だと思われる。今現在、1棟のハウスで乾燥しているが足りないため、収穫が乾燥終了後までできない状況である。乾燥したタマネギを保管できる場所もなく、すぐ

に調整・選別作業をしなければいけないので、作業に追われる複合経営では難しいと聞いている。このままでは普及どころか衰退しかねないと思う。施設不足の軽減のためにもハウスを建設することはできないか。

### 要望

今の乾燥施設の隣にでも選別ができるハウス1棟あれば間に合うかと思うが、複合経営なので忙しいときは、私の勝手な考えとは思いますが、農協のトマトの選別に行かれる方もある程度、タマネギの選別もお願いできるのではないかと。蓬田地区の第1ほ場整備もこれから高収益作物が必須条件とある。そのためにもまだまだ拡大できるように施設の建設をぜひ私からお願いする。

**A**

(産業振興課長) タマネギ作付は、平成28年の1町歩から始まり、現在は約5町歩の作付面積となっている。一年一年問題点を解決しながら進んできたが、当初の計画どおりの収益はまだ上がっていない。議員の言うとおり、乾燥設備の不足は切実で乾燥不足による腐敗が生じ、かなりの廃棄が出て

いる。今後、玉ねぎ生産組合と設備内容や規模、支

※複合経営・稲作と野菜など2つ以上の部門がある



掘り起こされたタマネギ

# 吉田 勉の一般質問

第4回定例会（12月8日）



## 12月中にはインフルエンザの予防接種を終えられるか

（村）状況は不透明である

**Q** 今季は全国的にインフルエンザワクチンの供給が遅れている。12月中旬までに接種できればよいとされているが、12月中には希望者は接種を終えることができるのか。

**A** （健康福祉課長）現在つかんでいるのは、12月中旬になれば、製造製薬会社から順次流れてくるという情報だけなので、接種希望者などの時点で接種が終われるのかは不透明である。

高校生以下を無料化できないか

**Q** インフルエンザは、昨年全国的に多かった人が少なかつた。そして今

## マイナンバーカードが役場で申請できることを改めて広報してはどうか

（村）広報やホームページで周知していく

**Q** 現在、マイナンバーポイントが2万円分付加されるといふことで全国的にマイナンバーカードの申請が増えている。役場でも個々に受け付けているようだが、そもそも役場で申請できることも忘れている人も多いと思う。改めて広報などで周知する必要がないか。

**A** （佐藤一仁住民課長）現在、ホームページや広報でPRを実施しているが、運用開始がされればさらに交付申請が増えると思われる。役場総務課及び住民課、出納室の前に総務省の広報物品等でPRをしていることだ。

ひもづけ作業を役場で手伝うことはできないか

**Q** マイナンバーポイント2万円分をもらうためには、クレジットカードや健康保険証、交付金受け取り通帳とひもづけが必要だ。このひもづけ作業は個人情報にも関わるが、役場で手伝うことはできないのか。

**A** 万円の受け取りは役場にやることになるが、その段階で5000ポイントのひもづけ作業だけは手伝っているのか。また、今後、国から指針が示されて健康保険証、交付金受け取り通帳に特別加入しなくてもいいようになるのか。

国から示された内容で対応したい

**A** （住民課長）ひもづけ作業の手伝いは、村では国から示された内容に準じて対応していきたい。

カードを作った段階でひもづけ作業は手伝っているのか

**Q** カードの受け取りは役場にやることになるが、その段階で5000ポイントのひもづけ作業だけは手伝っているのか。また、今後、国から指針が示されて健康保険証、交付金受け取り通帳に特別加入しなくてもいいようになるのか。

**A** （住民課長）現在、役場では手伝っていない。今後、他市町村の状況を踏まえて住民からの要望に寄り添った形で進めたい。

近隣を踏まえて検討する

**A** （住民課長）現在、役場では手伝っていない。今後、他市町村の状況を踏まえて住民からの要望に寄り添った形で進めたい。



# 川崎憲二の一般質問

第4回定例会 (12月8日)

## 村営住宅に低所得の基準に該当しない世帯はあるか

### (村)収入超過は2世帯ある

**Q** 現在ある2カ所の村営住宅(低所得者住宅)には、低所得者に該当しなくなる世帯はあるのか。

**A** (建設課長) 収入超過者は2世帯である。

どのような対応をしているか

**Q** その2世帯にはどのような対応をしているのか。

明け渡すようお願いしている

**A** (建設課長) 収入超過者は公営住宅を明け渡すよう努力する義

務があることから、明け渡すようお願いしている。

その2世帯から相談はないのか

**Q** 例えば、その方がどこも行き場がないので、村でそういう場所を見つけてくれないかという話はないのか。

今この相談はない

**A** (建設課長) 現在の相談は受けていない。

今後の空き家関連のスケジュールはどうなっているのか

**Q** そういつ人々を救うために、やはり定住促進住宅の建設が必要だと思われる。今年度、各自治会に空き家の調査を依頼したようだが、その空き家の状況、また、その空き家バンク創設も計画にもあるようなので、今後のスケジュール等はどのようになっているか。

年度内に次期対策計画を見直す

**A** (小松生佳総務課長) 令和3年度は村内の空き家の調査を業務委託で行っている。年度内

に空き家等対策計画、令和4年度から令和8年度の5年間で見直しをする予定である。その調査の中で、所有者に空き家バンクについてアンケートを実施しており、そのアンケートの中に空き家バンクに登録したいと回答のあった方には、令和4年度以降で条件、リフォーム等などについての確認を予定している。その結果、要望する件数が多いようであれば、空き家バンクの創設を検討したいところでは考えている。

空き家バンクを創設してから進めてはどうか

**Q** 令和4年から8年までの間に調査して、要望があれば空き家バンクの創設となっているが、促進住宅建設等ももしできないのであれば、空き家をあっせんするなりしていかないといけないのではないか。

また、その空き家も更地になっている世帯もあるが、お金がなくてできない人もいると思う。空き家の持ち主が村内にいない場合もあるかと思う。そういうのも相談しながら、村で買い取るなどは難しいかと思うが、今後人口が減っていく中で空き家等は有効に利用しないといけないと思うので、要望があっても空き家バンクの創設、ではなく、バンクを創設してからやっていったほうがいいのではないか。

空き家バンクに登録できる物件の調査を先にする

**A** (総務課長) 空き家バンクをつくってもその空き家バンクに登録できるような物件がなければ実際は絵に描いた餅になる。結果的には、住宅調査をして空き家バンクに登録できるような物件であれば、バンクをつくって活用

するのがベストだと考えて



村内の空き家

いる。調査を先に進めるといって考えている。

**定住促進住宅の建設を進める気はあるのか**

**Q**

今後空き家等は増えると思うので、

やはり調査など早急に対策をしてほしい。

人口ビジョン、村長の公約にもあった定住促進住宅の建設事業だが、私の記憶では2期目の公約にあったと思う。計画にすらなっていない状況で、本当に進める気はあるのか。

**若者の流出を阻止したい  
新年度視察を実施したい**

**A**

(村長) 確かに、蓬田村人口ビジョ

ン、第2期蓬田村総合戦略で、若者向けの住宅建設に取り組むことになっている。やはり若い方が村から出て行くのは何としても阻止したい。逆にこちらに来てもらうような受け入れ態勢を整えるべきというのが私の思いである。

新郷村で若者向けの住宅を建てて、確か30年間そこに住めばただであげるといふ報道があった。新郷村の村長さんに視察研修させてほしいと申入れをして、了

解をもらっている。できれば議会と一緒に見に行けたらいいなと思っている。新年度にそれを実施したい。

**新役場庁舎の建設と同時  
進行で住宅建設も進められないか**

**Q**

私も以前相談を受けたことがある。

蓬田村に住みたいが、今の村営住宅は低所得者向けなので入れなくて、来られないということだった。わが村は、市内には通勤圏内だし、また、除雪等もだいたいいい環境だと思う。ぜひとも促進住宅、団地のようなものをやってほしい。今、新役場庁舎も進めていると思うが、できることなら、住宅建設も同時進行はできないか。

**若者世帯向け住宅の建設事業は来年度から調査検討していく**

**A**

(建設課長) 新役場庁舎建設事業は

建設予定地が決まり、現在、測量業務が行われており、第1回審査委員会が昨日開催された。若者世帯向け住宅の建設事業は、来年度から財源も含めて調査検討していく。

**要望**

人口ビジョンや村長の公約にもあるが、いろいろ挙げてもやれないのであれば、まさに絵に描いた餅になるので、ぜひとも早め実現できる方へ要望する。

※インフルエンザ予防ワクチンについての質問は、他議員と内容が重複しているので控えますが、18歳以下の予防接種無料化を要望するものです。

さかもと ゆたか  
**坂本 豊の一般質問**

第4回定例会 (12月8日)



村内の稲刈り

# 今年の米価下落の原因をどのように考えているのか

(村) コロナ禍で業務用米のまっしぐらの需要が落ち込んだためと考える

**Q**

今年の生産者米価のJA概算金は県内まっしぐらでは8000円となり、全国的にも9000円台となっている。昨年の1万1400円より3400円も引き下げられ、想像以上に厳しいものとなった。

米価下落の原因は、コロナ感染症により外食産業が衰退したため米の消費が減ったことによると言われている。しかし、人は外食ばかりで食事をしているわけではなく、その分は家庭で取るので米の消費が減ることは理屈としては成り立たない。外国からの観光客が減ったことを想定しても、日本から逆に外国への旅行も同じくらい減っている。政府は昨年と比べて在庫があると言っている

**Q**

米価下落の原因をどのように考えているのか。

これらのことをふまえ、米価下落の原因をどのように考えているのか。

**A**

(産業振興課長) 新型コロナウイルス感染症の影響により業務用米を中心に需要が落ち込み、危惧されていた米余りに歯止めがかかっていないことが主な原因と考える。特に、まっしぐらの減額率

村が農業に援助できることは何なのか

**Q**

農業は国が支える産業であるべきだ。ヨーロッパでは9割を政府が保障していて、農家は準公務員並みだ。アメリカでも穀物農家の5割を政府が保障している。アメリカの農産物が決して安いではなく、政府の補助金で輸出をしているからだ。日本も農業に力を入れることは国を守ることにつながる。農業に対して村が援助できることは何なのか。後継者が残れる産業にするにはどのようにしなければいけないのか。村で特別力を入れたいことは何なのか。

が多かったのは業務用で使われることが多いからだと思っている。

非主食用米や高収益作物への作付け転換が必要だと考える

**A** (産業振興課長)  
今年度の米価下落

は想定以上に大幅で、小規模農家はもとより大規模経営でも大きな打撃を受けている。米の市場価格は需要と供給のバランスにより、どうしても上下してしまふ。その中で需要に応じた米生産が重要であり、非主食用米や高収益作物への作付け転換が必要だと考えている。また、長期的には経営規模拡大、農業機械の利用率向上によるコストの低減化を図るとともに、蓬田村地域農業再生協議会を通じて経営所得安定対策に取組み、水稻の減収を高収益作物で補つなど、ほ場の条件を踏まえて品目の導入を検討し、経営の安定化を図っていく必要がある。

農家の数を減らさないために村はどう考えているのか

**Q** 村の財政力で補助

や助成をしても限界がある。効果的に限られた予算で効率のよい使い方を考えなければならぬ。大型機械が入らない耕作地は広げるしかない。国の土地改良事業もよいが、規模の大きくないところは村で重機を入れて行うことも必要だ。長野県の栄村では経費を抑えた土地改良を独自に行っていた。土地改良がされていない高根、瀬辺地区でも、少ない予算で水田の拡幅工事もできるのではないかと私は考えている。今、農道の草刈りは農家の仕事になっているが、村が行って農家の労力を軽減することも必要だ。若い農家がこれから離農する人たちの耕作地を管理できるように、行政で手伝いをしていくことが求められる。現在、各地区では水土里保

全隊が活躍をしているが、10年後は高齢化で期待できなくなることを考えられる。農家の数を減らさない方法が求められるが、村としてはどのように考えているのか。

ほ場整備など必要なことはやっていきたい

**A** (産業振興課長)  
瀬辺地区、広瀬

地区などの未整備地区は、かなり作業効率が悪い。各地区には若い担い手がいるので、手を挙げてもらい機械による省力化が実現できるようなほ場整備などの必要なことはやっていきたいと考えている。

## 国の事業復活支援金の制度を広報できないか

(村)最大限情報提供していく

**Q** 昨年の国の持続化

給付金や、今年の青森県中小企業等事業継続支援金30万円は、対象になる事業者はその情報があまり知られていないために、申請をしない事業者が多くいた。このことからJAや村が積極的に広報などで対象者にお知らせしてもよいのではないかと考えている。来年も国はコロナ感染症対策として、事業復活支援金を最大で250万円、条件により30万円まで支援するとしている。また、条件により持続化給付金の半額の50万円まで支給することになっている。農家や漁業者、事業者が対象だ。具体的にはまだ決まっていないが、今年の11月から来年の3月までの収入額が201

9年か2020年の同じ月と比較して50%から30%減収している月があれば対象になる。村としても対象になる事業者に、この制度を知らせる努力をしてももらえないか。

**A** (産業振興課長)  
国の事業復活支援

金は、法人で最大250万円、個人で最大50万円だ。地域や業種は問わないとなつているようだ。ただ、まだ国会も通っていないので未定な部分が多いが該当する方はぜひ申請してもらいたいと思つている。村としても最大限、情報提供はしていきたい。

# 久慈省悟の一般質問

第4回定例会（12月8日）



## バイパス沿いに決定した新役場庁舎への右折レーンが必要ではないか

（村）県公安委員会に要望をしたい

**Q** 新庁舎の建設地が国道280号バイパス沿いに決定された。バイパスの安全走行、右左折する村民の安全を守るため、ぜひ幅員が必要ではないか。

**A** （総務課長）新庁舎の建設予定地がよもつと団地の海側に決まった。国道280号バイパスからの車両の通行量が増加することが多分に予想される。ただし、交通関係の施設等は青森県の公安委員会が所管しているので、今後庁舎建設のスケジュール等に合わせて右折レーン等の要望はしていきたい。

プロポーザルの検討委員会に県の道路維持管理関係者を加えられないか

**Q** プロポーザル検討委員会のメンバーに各大学の工学から地域社会に精通した教授、そして青森県土木整備部の建築住宅課長、そして総務課長、副村長の名前があった。280号バイパスは国道なので、国から委託を受けて県が維持管理している。できれば検討委員会のメンバーに県土整備部の方を加えることはできないか。

**A** （総務課長）実物は、昨日（12月7日）第1回目のプロポーザル検討委員会を開いている。道路の維持管理をしている県土整備部からの委員

をということだが、建物を建てるためのプロポーザル検討委員会であり、それに附帯する土地の規制や許認可関係、それから土地の周りの排水、上水という部分はプロポーザルでカバーできるが、新庁舎に来る車の流れまではプロポーザルの部分では所管の部分に入っていないので、そのために委員を入れることは想定していなかった。国道自体は新役場庁舎の建設で手をつける部分ではないので、役場の場所を移転して、そばにある国道に右折レーンなり、横断歩道なり、信号機なりをつけてほしいという、あくまでも要望をせざるを得ないのかなと思っ

ている。庁舎建設のスケジュールの進み具合を見ながら、県には要望する考えである。

もう検討委員会が始まっているのでこれから委員を追加することはできない。

**要望が通るように  
検討してもらいたい**

**Q** 我々もこの村の誇れる庁舎をみんなで造っていきたくて考えているので、ぜひ道路状況や周辺の整備等は、どうすればその要望がかなうのか、村長サイドで検討してもらいたい。村長から答弁をお願いしたい。

**まずは計画を  
きちんとした上で進める**

**A** (村長) 県や国が所管しているものに対し私どもは要望するしかないわけだが、やはり全体的にいわゆる青写真ができた時点で、国、県に要望しなければいけないだろうと思う。ただ、それがなかなか実現しないとすれば、やはり政治の力も必要になるのかなと思っている。まずは計画、青写真をきちんとした上で進めさせてもらいたい。

**周辺、排水状況の  
事前調査が必要では**

**Q** 周辺の排水対策に万全を期するため事前調査が必要と思われるが、結果、不良が判明した場合は、修繕・改修が必要だと思う。その準備はなされているのか。

**必要があれば  
もちろん対応する**

**A** (総務課長) 庁舎入した土地には、様々な法律での基準があるので、その法令等を遵守して事前調査で改善・改良が必要となった場合はもちろん改修等で対応すると考えている。

## 除雪隊の人員確保は できているのか

(村) 8名任用している

**Q** 雪はこれからが本格的になつてくる。村内の除排雪作業を実施するに当たり、除雪隊の人員確保はきちんとされているのか。

**A** (建設課長) 令和3年度除雪機械オペレーター雇用で8名を公募したところ、8名から申し込みがあり任用している。



瀬辺地地区の除雪作業

**人員に余裕を  
もつべきではないか**

**Q** 突然の病や不幸なども考えて、やはり人員に余裕を持つべきではないのか。一度検討してみる気持ちはないか。

**今後検討していかなければならない**

**A** (建設課長) 今年度は8名体制で行っていくが、今後は、昨年のように大雪で日中も降り続く状態になれば、やはり人員の増員などはしている。

**要望**

来年度から人員に余裕をもった採用方法で再度検討してもらいたい。

# 令和4年 第1回臨時会

1月7日に開催されました。  
議案1件を審議し、原案どおり  
可決しました。

## 補正予算

| 会計名  | 補正金額    | 予算総額       |
|------|---------|------------|
| 一般会計 | 6,317万円 | 24億6,240万円 |

(千円単位四捨五入)

新型コロナウイルス感染症が長期化する中で、国が10割補助で行う、子ども子育て支援及び住民税非課税世帯等への特別支援として

現金給付をする事業の予算計上。

### ■一般会計

可決(賛成6 反対0)

○子育て世帯等臨時特別支援事業 1580万円

18歳以下を対象に一人につき5万円を追加給付。

○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 4737万円

住民税非課税世帯等を対象に1世帯あたり10万円を給付。システム改修後、2月中の給付を予定。  
対象者

- ・令和3年度分の住民税均等割が非課税世帯
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年1月以降の家計が急変し住民税均等割非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯(要申請)

## 追跡

## あれから・・・

令和3年度9月補正予算で可決になりました。



## 玉松台スポーツガーデンに遊具完成

令和3年12月に複合型遊具(大小すべり台、登り棒など)とブランコが設置されました。野球場の駐車場の南側です。現在はまだ雪の中ですが、春になったら遊びに来てください。

### 皆さんの声をお聞かせください

村民の皆さんに伝わる広報、広聴広報の誌面作りを目指し、ご意見、ご要望をお待ちしております。

### 青森県蓬田村議会 広報編集委員会

委員長：坂本 豊  
副委員長：柿崎裕二  
委員：吉田 勉  
委員：川崎憲二

電話 0174-27-2111  
(内線900, 901)

### ◀◀ 傍聴をお待ちしています ▶▶

村政の主役は、村民のみなさんです。議会だよりでは、スペースの都合上、要約してありますので、村の今とこれからをよく知るには、臨場感のある傍聴がイチバン！

3月定例会は、3/8開会予定です。役場2階でお待ちしています。

### 編集後記

新型コロナウイルスの影響により外出自粛や飲食店の休業、時短営業などの影響により米の販売量が激減し概算金が8000円と前年比3400円もの値下げとなりました。村としても近隣他町村の助成額を踏まえ10aあたり5800円、総額2840万円の支援を決めました。

ところで指標となった生産費1俵9600円の根拠がどうしてもわかりません。令和元年で1万5000円と言われているのになぜ5000円も下回るのか、調べてたどり着いたのが平成25年に閣議決定された、令和5年までに9600円に引き下げるという努力目標でした。つまり実現不可能な努力目標を立てて不当に低い金額を示したわけですから、怒れる農家参院選挙に行きましょう。

(勉)